

環境保護への理解深め

富士宮高校 企業見学や講演会で

富士宮高校
学生会議所

（渡井美結・清彩華会
頭）はこのほど、この
春からバイオマス発電
事業を開始する朝霧パ
イオパワー合同会社
（富士宮市根原）を見
学した。また、海洋学
者永田雅一さんを講師
として環境問題に関
する同社員からの
説明に熱心に耳を傾
けていた。



企業の施設を見学



永田さんの講演会に参加したメンバーたち

る講演会・交流会も開催し、地域の特徴を生かした新しい取り組みや環境保護の大切さについて学びを深めた。

同市朝霧地区にある同合同会社は国内有数の酪農地域という特徴を生かし、牛ふんや生ごみをたい肥化する過程で出るメタンを使って発電する事業をスタートする。同会議所メンバーは発電の仕組みに関する同社員からの説明に熱心に耳を傾けていた。

その後、同会議所が企画に関わるたい肥「マスマス元肥（げんぴ）」を製造する富士バイオテック株式会社を見学。自動化された工場の様子に驚きの声を上げていた。

一方、西町レトロ館で行われた永田さんの講演会では、「海洋環境と森林環境について」をテーマに、森と海洋の環境の結び付きや深海生物の生態、海洋汚染問題などの話に聞き入った。

交流会では、里山の重要性や永田さんが制作を進める上野地区のバイオープが話題となり、メンバーは同会議所として関わりを深めていきたいと意欲を高めていた。